

区会レポート

須磨区会 トライやるウィークをサポート

須磨区会の21人は、9月28日（月）から10月2日（金）までの5日間、青陽須磨支援学校のトライやるウィークにサポーターとして参加しました。中等部2年生の障害のある生徒27人が神出自然教育園、北須磨保育センター、地下鉄名谷基地など13か所の受け入れ事業所に分かれ、初めて仕事を体験するのを見守り、ときに手を貸して助けるのです。

9月30日、神出自然教育園では西尾孟三、内藤宣子、廣澤陽子、高津尚之、斎藤幸久、永野知己の6人と担当教師とで8人の生徒に1人ずつ付き添いました。朝9時に学校に集合。事前説明と朝礼の後スクールバスで出発、園に到着すると用意された軍手や長靴で身仕度をととのえ作業場へ。しかし生徒の中には途中で立ち止まって、背中を押しても動かなくなる子がいたりします。担当の教師から「しばらくそのままけがをしないよう見守ってくだされば結構です」と言われ、障害児に付き添う

とはそういうことなのかと気付かされました。ブドウのハウスのまわりに生い茂った草を引く仕事では、懸命に草を引きポリバケツに4杯も5杯も集める生徒もいれば、真似事ほどの生徒もいます。見学に来た母親から「やってみせて」といわれると草をちょっと引いて「もうお終い」という生徒もいました。

生徒の障害は、会話ができない、歩行が不自由など現れ方も程度も様々です。しかしこのトライやるウィークを通じてそれぞれに新しい体験を得たに違いありません。学校にとっても受入れ事業所にとっても、また家族にとっても、さらにはボランティアにとっても気が抜けない行事ですが、終わっていきさかの達成感を感じたことも確かです。（須磨区会 永野知己）

垂水区会 姫路城を歴史探訪

6月23日、リニューアルされた国宝姫路城の内濠コースを18人が楽しみ、全方角から姫路城を眺めました。「イーグレひめじ」の屋上からは姫路城の全景が一望でき、素晴らしい眺望でした。50年ぶりの人、30年ぶりの人、最近天守閣に登ったけれども姫路城の周辺を

巡るのは初めての人など様々ですが、楽しく姫路城の周辺を探訪しました。参加者に1期の方がいて、最後まで一緒に巡り、元気を頂きました。初めて顔を合わせた人も多かったのですが、すぐに会話が始まり、気持ちの良い歴史探訪になりました。（垂水区会 岡本統一）



中央区会 ◆小学校の運動会支援 6月6日に、雲中と上筒井小学校で、父兄や親族方の会場への入退出のチェックの支援活動を4人で行いました。綱引きや玉入れ、紅白対抗リレーなど昔と変わらぬゲーム、スポーツが有り、懐かしく感じられました。

北区会 ◆グラウンドゴルフ大会開催 さわやかに晴れあがった10月9日、しあわせの村球戯場で27人が参加して開催。試合は9組に分かれ、2ラウンドの個人戦で行われました。優勝は、広地良子さん(43)、同点で最少打数の多い樽井啓祐さん(44)が2位、實松良次さん(44)が3位となりました。終了後、野外活動センターのレストラン「アミーゴ」に会場を移し、恒例の昼食会と表彰式が行われ、秋の一日、楽しく親睦を深めることができました。

須磨区会 ◆須磨海岸クリーンアップ作戦 6月28日に参加しました。神戸びかびか隊やカレッジ生も参加。須磨区会としては定例で清掃活動を行っており、7、8月は毎週実施しています。

垂水区会 ◆サークル・クルレ農業体験活動支援 メンバー8人が6月21日、発達障害児童・生徒とその家族のための農業体験活動を手助けしました。幅代表に招待された小畑理事長も活動に参加。社団法人クルレから5月に感謝状を贈られています。

◆グラウンドゴルフ大会開催 7月12日午後、30人が参加。舞子苔谷公園で元気に3ラウンド楽しみました。

◆多間ひまわり幼稚園支援 7月14日に、今年も「カレパティ」に支援メンバー6人が招待されました。園児たちが参加意欲満々でつくったカレーを、園児と一緒に美味しく食べ、園児から元気をもらいました。

◆介護老人施設の夏祭り支援 7月18日、舞子台ホームの夏祭りの支援を5人が行いました。垂水区ボラセンからの依頼によるもので、踊り、花火大会を入所者・家族と一緒に楽しみました。

（編集 広報 岡本統一）